

製品名: MAP3K5 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81000**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	55kDa

抗原情報

遺伝子名	MAP3K5
別名	ASK1; MEKK5; MAPKKK5
遺伝子 ID	4217.0
SwissProt ID	Q99683
免疫原	大腸菌で発現したヒト MAP3K5 の精製された組み換え断片。

背景

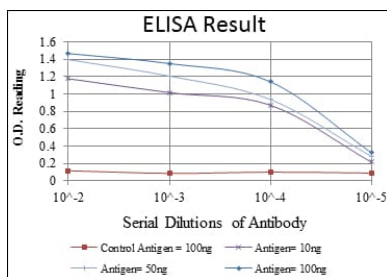
マイトジェン活性化プロテインキナーゼ（MAPK）シグナル伝達カスケードには、MAPK（細胞外シグナル調節キナーゼ）、MAPK キナーゼ（MKKまたはMEK）、MAPKキナーゼキナーゼ（MAPKKまたはMEKK）が含まれます。MAPKKキナーゼ/MEKKは、下

流のプロテインキナーゼである MAPK キナーゼ/MEK をリン酸化して活性化し、MAPK を活性化します。これらのシグナル伝達カスケードのキナーゼは高度に保存されており、酵母、ショウジョウバエ、哺乳類細胞に相同遺伝子が存在します。MAPKKK5 は、1,374 個のアミノ酸を含み、11 個のキナーゼサブドメインすべてを有しています。ノーザンブロット解析により、MAPKKK5 転写産物はヒトの心臓と膵臓で豊富に発現していることが示されています。MAPKKK5 タンパク質は、in vitro で MKK4 (別名 SERK1、MAPKK4) をリン酸化して活性化し、COS 細胞および 293 細胞での一過性発現中に c-Jun N 末端キナーゼ (JNK)/ストレス活性化タンパク質キナーゼ (SAPK) を活性化します。MAPKKK5 は MAPK/ERK を活性化しません。

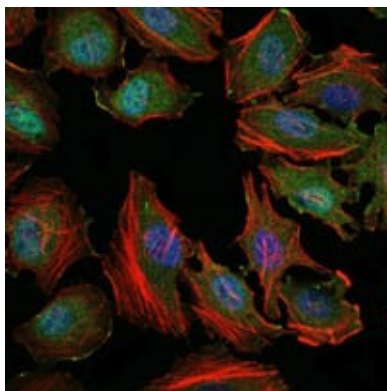
研究分野

アポトーシス、MAPK シグナル伝達経路

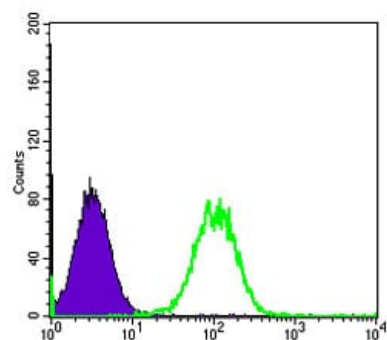
画像データ



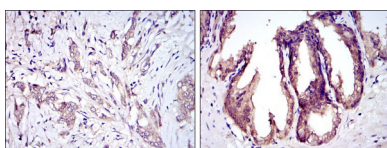
赤: コントロール抗原 (100 ng); 紫: 抗原 (10 ng); 緑: 抗原 (50 ng); 青: 抗原 (100 ng);



MAP3K5 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



MAP3K5 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (紫) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色による MAP3K5 マウス mAb を使用した、パラフィン包埋ヒト乳がん組織 (左) および前立腺組織 (右) の免疫組織化学分析。

